

## コミュニティデザインとビジネス科目群

科目コード	OG275	科目名	サステナブルコミュニティの思想と実践	科目群	第2群
担当者	大和田 順子 (オオワダ ジュンコ)				
開講日程・時限	夏期集中 8月 25日、26日、29日(10:00~ 17:00)	授業方式	対面	単位数	2 単位
備考	履修人数制限なし				
授業の目標	SDGs は世界共通の課題とその目標ですが、私たちの暮らしとも密接な関わりがあります。本講座では、SDGs の視点から私たちが暮らす都市部と農山村や世界のコミュニティとの関係・支え合いについて考えます。				
授業の内容	私たちが暮らす首都圏は食料やエネルギーの自給率が大変低く持続可能とはいいがたい状況で、その暮らしは農山漁村や世界に支えられています。一方、国内の農山村の多くが過疎・高齢化で持続可能性が危ぶまれています。「世界農業遺産」や「みどりの食料システム戦略」などの政策や関係人口、農泊などの取組に着目します。都市農村が協働し新たな価値創出（イノベーション＝地域創生）を行い、SDGs の目標達成にもつながる取組やサステナブルな地域づくりを考えます。				
授業計画	<p>第 1 日 第 1 回 オリエンテーション：自己紹介、SDGs、サステナビリティ  第 2 回 日本の農山村・森林の現状、コミュニティの現状と課題  第 3 回 「世界農業遺産」とは  第 4 回 「世界農業遺産」事例 1：山村（宮崎県高千穂郷地域）他  第 5 回 「世界農業遺産」事例 2：農村（宮城県大崎地域）他</p> <p>第 2 日 第 6 回 和食文化と風土  第 7 回 「みどりの食料システム戦略」・食の世界史  第 8 回 関係人口・農泊（アグリツーリズム）  第 9 回 バイオマス・再生可能エネルギー・森林活用  第 10 回 世界の課題とこれからの私たちの暮らし</p> <p>第 3 日 第 11 回 持続可能な地域づくり ～埼玉県小川町・有機の里～  第 12 回 フィールドワーク：講話（有機の里づくり）  第 13 回 見学（霜里農場）、体験（有機野菜里山ランチ）  第 14 回 意見交換（人生 100 年時代の新たなライフスタイル）</p> <p>*状況により、第 3 日の実施方法・内容に変更が生じる。</p>				
成績評価方法	平常点およびレポート試験の総合評価				
講義中に直接使用する教科書	適宜資料を配布します				
上記教科書以外の参考図書	武内和彦、2013、『世界農業遺産』、祥伝社、858 円（税込）。 平賀緑、2020、『食べものから学ぶ世界史』、岩波ジュニア新書、902 円（税込）。 大和田順子他、2022、『SDGs を活かした地域づくり』、晃洋書房、3,000 円（予価）。				
その他（HP 等）	<a href="http://collections.unu.edu/view/UNU:6398#viewAttachments">http://collections.unu.edu/view/UNU:6398#viewAttachments</a> イヴォン・ユー責任編著者、2018、『世界農業遺産への道のり』、国連大学				